

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-49706

⑬ Int. Cl.⁹

A 45 D 33/00

識別記号

Z
M

庁内整理番号

8608-3B
8608-3B

⑭ 公開 平成3年(1991)5月15日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑮ 考案の名称 コンパクト容器

⑯ 実 願 平1-108337

⑰ 出 願 平1(1989)9月18日

⑱ 考 案 者 柚 原 時 代 東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内

⑲ 出 願 人 吉田工業株式会社 東京都墨田区立花5丁目29番10号

⑳ 代 理 人 弁理士 中川 周吉

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) 容器本体と蓋体とを蝶番部片を介して開閉自在に連結してなるコンパクト容器において、

前記容器本体の後端部に前記蝶番部片が容器本体後端面から突出しないように収容する収容凹部を設け、

また前記蓋体の後端部下面に蝶番凸部を設け、

さらに前記蝶番部片の上方部に該蝶番凸部が嵌合する蝶番凹部を設けて、

前記蝶番部片の蝶番凹部と前記蓋体の蝶番凸部とを第1の枢軸によつて回動自在に連結し、

また前記容器本体の後端部と前記蝶番部片の下方部とを第2の枢軸によつて回動自在に連結してなることを特徴とするコンパクト容器。

(2) 前記収容凹部に係合部を設け、また前記蝶番

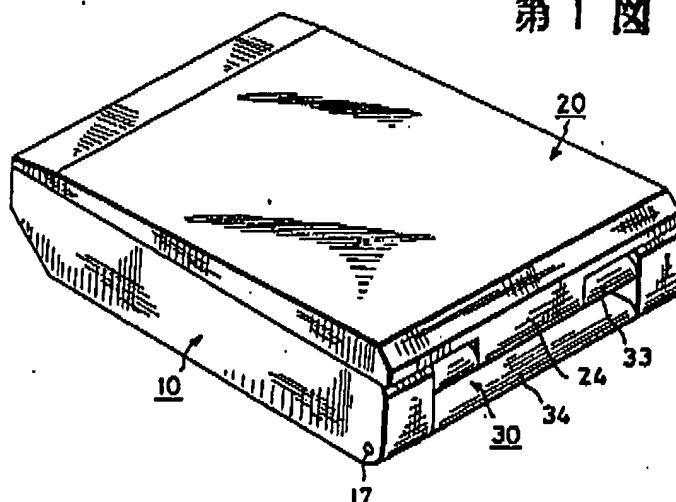
部片に該係合部に係脱自在に係合する被係合部を設けたことを特徴とする請求項(1)記載のコンパクト容器。

図面の簡単な説明

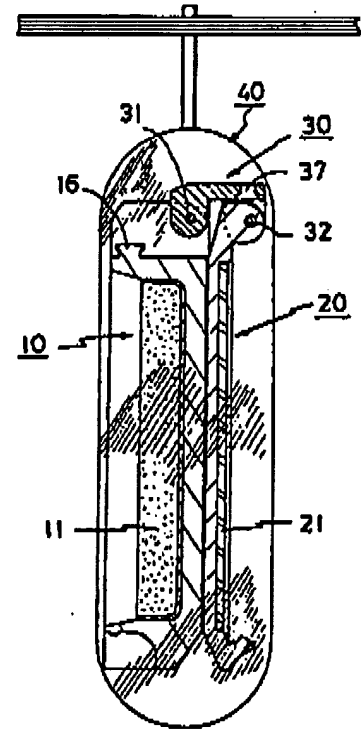
第1図は本実施例にかかるコンパクト容器全体の斜視図、また第2図は第1図のコンパクト容器を容器本体、蓋体、蝶番部片に分解して示した分解斜視図、第3図a乃至dは蓋体を開く状態を示す説明断面図、第4図はコンパクト容器を包装した状態を示す説明図である。

10は容器本体、15は収容凹部、16は係合部(係合突起)、17は穴、20は蓋体、24は蝶番凸部、25は穴、30は蝶番部片、31、32は枢軸、33、34は凸部、35は蝶番凹部、36は穴、37は被係合部(係合穴)、38は穴である。

第1図

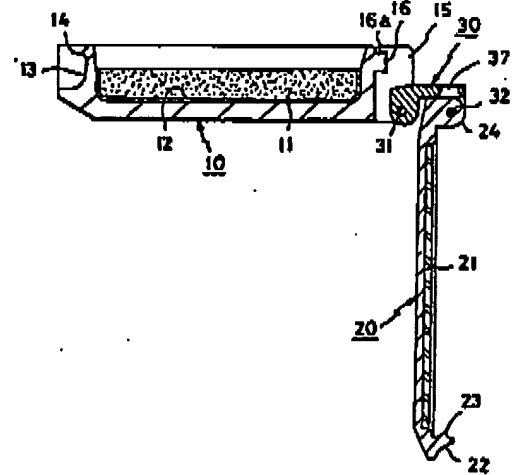


第4図

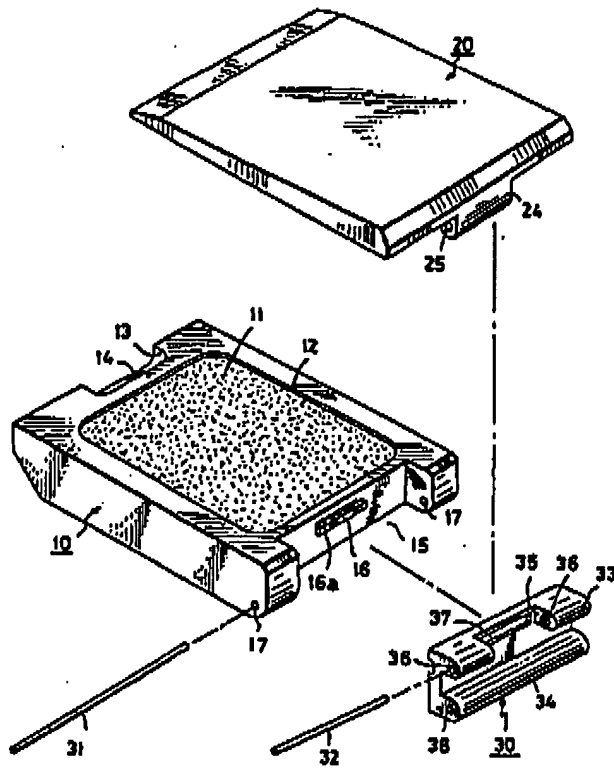


第3図

(c)

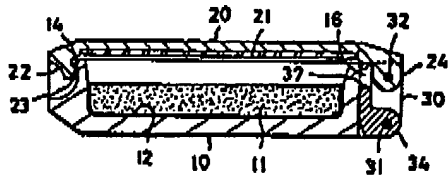


第2図

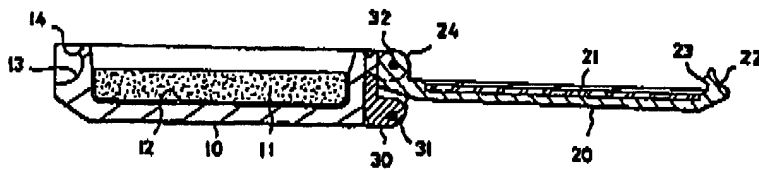


第3図

(a)



(b)



(d)

